



通信員コメント欄からの声を集めてみました。

希望記事

- ・今後も健康特集は欠かせないものです。健康づくりのためのもの（運動、栄養、予防）をお願いします。
- ・こりや疲れを取る「セルフマッサージ」や「体操・運動」などはいかがでしょうか？
- ・健康に関すること（特にヘルシーメニュー紹介など）

健康や食事に関する記事のご要望をまとめました。平成二二年度も「Health」のコーナーで連載を企画しております。ご期待ください。

- ・退職金の運用方法、特に、投資信託について、国内向け企業債と海外ソブリン債との比較
- ・Foreign Exchange 当市でライフプラン研修を実施したとき意見が結構ありました。個人的にはキャンセルだと思っております。

資産運用についての記事希望です。平成二二年度後半で金融商品の基本的知識について連載を行う予定ですが、ご意見で挙げられたような個別の商品についての説明は難しいかと思えます。

- ・最近、職場に投資用不動産の営業が頻繁に電話をかけて来ています。営業をしないと売れないような物は、悪徳商法だと決めてかかっているのですが、実際はどんな物なのか、運用のお話の中に取り入れていただければ勉強になります。

今号の「Economy」竹本先生の記事の中で、不動産投資金融商品について

て説明があります。ご質問のものと同じではないと思いますが、内在するリスクは基本的に方向が同じはずなので、参考にはなると思われます。一方投資詐欺をはじめとする悪徳商法は年々巧妙になってきています。一度「悪徳商法とその対策」というテーマで連載を組む価値があるかもしれませんね。

- ・通信員からの声の欄にも少しありましたが、自由投稿、面白いと思います。

地方公務員およびOBの方からの自由なエッセイ風のご投稿コーナーとして、「Person」があります。ご投稿をご希望される方は、ぜひご連絡をお願いいたします。

- ・公務員をしながら各分野で活躍している人の特集なんかどうでしょう。例えば、市民マラソンで優勝したり、将棋で全国大会に出たり、一芸に秀でた人の生活なんかを特集するとももしろそうです。ただ、そういう人を見つけ出すのが難しいですが、紙面でそういう人がいたら教えてくださいという風に募集すると集まりそうです。

従来から不定期で掲載しております「Hobby & Sports」が、まさにご指摘のテーマを取り扱うコーナーでございます。我こそはとお思いの方、ぜひともご一報をお願いします。

- ・職場や地域での人との関わり方（コミュニケーション等）や机上の整理術について教えていただきたいです。

机上整理術につきましては残念ながら現在のところ企画がございませんが、人とかかわり方については、次号から連載で「ファシリテーション」というコミュニケーションスキルについて専門家に寄稿いただく計画です。

・「親との同居」についての特集をしてほしいです。公務員は全般に地元で生まれ育ちそのまま住み続ける人が多いと思います。最近では夫よりも妻側の両親と同居（又は近居）する方が多いと思います。私自身は夫側の両親と同居ですが、同居のメリットやデメリットについてや同居の成功体験談について知りたいです。

興味深いテーマですね。検討したいと思います。

その他ご意見

- ・「腹やせウォーキング」の極意（第二回）を参考に、昼休み、夕方と意識して歩いています。おかげでおなかが少し引き締まってきました。また、退職後の活動の一つとして夫婦で山歩きを始めました。退職時（還暦）には夫婦で富士登山を目標としています。
- ・最近、旦那さまが腹部をひっこませようと、腹筋を頑張っているのですが、ウォーキングをすすめようと思います。この本も見せて参考にしてもらって頑張ってもらいたいです。
- ・職場の健診で、メタボ判定から早一年を経過、まだまだ努力が足りないかと反省しつつ、今号の腹やせウォーキングを参考に、邁進したいと思います。

福田正博先生の腹やせウォーキング連載は今号で完結です。いかがでしたでしょうか。私自身（最近太り気味）非常に参考になりました。何と云っても実践が大切ですので、すぐに始めてみることをお勧めします。

・「介護が始まる時」。読んで多くのことを考えさせられました。貴重な体験を語っていただいた中から、少しでも学び、自身の立場に置き換えて今から備えていこうと思いました。思った以上に、早い時期・予想しない時期に介護はくるものだと気が付きました。

・介護が始まる時（第一回）…著者の介護の大変さが文章の行間から良く分かります。私もいつ介護される身になるか予測できませんが、介護される人も又介護に携わる家族にとっても、これからは一層の福祉政策の充実が強く望まれますね。

・八〇歳後半の親が二人今は何とか元気ですが、介護のことはなんとなく意識しています。実際に介護となると、できるのか不安です。「介護が始まる時」は、とても参考になります。

・（前略）「介護が始まる時」は、いずれと思うと非常に実感がわきました。二回目を楽しみにしています。やはり、実話の紹介は説得力があり共感できます。

・「介護が始まる時」はショックだった。

荒牧さんの記事に対するご意見が多く寄せられました。決して他人事ではないということを意識されている方が多いのだということ強く感じました。

・酒井美紀さんのインタビューはよかったです。色々な活動をされている女優さんを知ると元気が出ます。

・酒井美紀さんのファンなので、インタビューで取り上げられていたことに驚くと同時に、うれしく読みました。我が家も二月に第一子誕生なので、インタビュー内容も参考になりました。

ご評価いただきありがとうございます。またご無事で出産されることをお祈りいたします。

・「甲府鳥もつ煮」の記事を興味深く拝見しました。とりもつ隊のまちおこしへの熱意が伝わってきました。メンバー内で大論争が勃発するのも、それぞれの隊員が本気で取り組んでいるからこそだと思います。最後に、私も鳥もつ煮を頂きたいと思いました。

職員の地域おこしへの熱意が伝わったのであれば、この記事企画は成功と言えます。さらに「鳥もつ煮を食べたい」と思わせることができたら、大成功と言えましょう（笑）。

・本号の表紙を飾った、地元道後温泉。夜の帳で浴衣姿。忘年会で行く程度ですが、松山の誇る名所です。本書の楽しみが一つ増えました。

ありがとうございます。お気づきの方も多いかと思いますが、現在のALPSの表紙は各都道府県から一カ所ずつ名所を選び、掲載する季節に合わせて掲載しております。四七都道府県を全部紹介するまであと八カ所残っております。ご期待ください。

・(前文略)「遊び」の計画」は、退職後の「生きがい」への大きな要素がすぐ自分の環境の中にそのヒントはつかめるということを学びました。健康である事と、家族の理解が求められたなら誰でも永く、楽しく続けられる事、セミナーなどのおススメメニューへの良いアドバイスとなりました。

皆さまが生きがいある生活を目指す上でのヒントを、この冊子の記事の中から得ることができれば、当協会の目的は達成されたこととなります。

・モニターになってからじっくり読むようになったせいか、今年度のALPSは内容が充実し、読み応えのあるものに変わってきたと思います。職場では各個人までは手に入らないので、これからもできればモニターを続けさせていただき、自宅でゆっくり読みたいです。

・今回は「金融商品」「生命保険」が良かったです。一冊を読み終えると結構疲れます（ボリュームがあるので）。

・今号のノロウイルスの記事については、子どもの学校で流行した直後だったので興味深く拝読しました。また、生命保険の見直しは私もファイナンシャルプランナーに相談して半年がかりで実行しました。ライフプランの中で、生きがいや人生設計、経済とお金の話、健康と、それぞれの大きな柱が毎号取り入れられているので、内容が濃くてよいと思います。

一般的な内容の濃さについて言及されたご意見をまとめました。ALPS編集としては大変うれしく、またありがたい気持ちで一杯です。これからも精進いたします。

